

第5回岩国市総合計画検討会 議事概要

■ 開催日時・場所

令和4年10月14日（金）18:00～
岩国市役所 3階 31・32 会議室

■ 次 第

- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 前回の検討会における意見への対応について
- 4 パブリックコメントへの対応について
- 5 序論・基本構想と前期基本計画の案について
- 6 その他
- 7 閉会

議事録

1 開会

2 座長あいさつ

座長	本日は最後の検討会となる。前回までの様々な意見を受け作成した計画案に対して、パブリックコメントを実施して市民の方に意見をいただいた。パブリックコメント実施後の計画案について、皆様から意見をいただきたい。
----	---

3 前回の検討会における意見への対応について

（事務局説明）

座長	御質問、御意見をいただきたいが、いかがか。意見がなければ次の議題に行く。
----	--------------------------------------

4 パブリックコメントへの対応について

（事務局説明）

座長	パブリックコメントを提出された方は3人だが、非常に多岐にわたる意見をいただいている。事務局も真摯に回答いただいているように見受けられるが、特に御意見がなければ次の議題に進みたいと思う。
----	--

5 序論・基本構想と前期基本計画の案について

（事務局説明）

座長	膨大な資料の上、限られた時間ではあるが、御質問、御意見があればいただきたい。
----	--

参加者 パブリックコメントについて、語尾に「必要である」や「重要である」などの御意見があるが、これらは一個人の意見であり、別の個人によっては真逆の意見である可能性もある。この意見の取捨選択については、事務局に委ねられているのか。

事務局 各意見に対して、庁内の関係課で確認を行い、市の見解として回答している。

参加者 前期基本計画（案）の97ページ「①地域の特性の応じた学校運営の推進」の主な取組で「中・高連携」とあるが、県はそういった位置付けをしていないのではないかと。中高連携は大事だが、取組として記載してもよいのか気になる。

参加者 中高一貫教育と中高連携は意味合いが違うと思う。中高連携として、中学校に高校の教員や生徒が来る取組などはある。ただ、中高一貫の教育システムという意味合いなのか、中高の交流といった意味合いなのか、この部分からは読み取れない。

事務局 表記は誤解が生じないように担当課と協議する。

参加者 前期基本計画（案）には関連計画が掲載されているが、まだ計画が策定されていないものもあると思う。そのような計画は、随時完成した時点で組み込んでいくのか。計画が修正されたら随時、総合計画を修正するのか。

座長 序論・基本構想（案）の3ページの「第3節 総合計画の構成と期間」で、総合計画は10年ごとの見直しで、5年後に基本計画の見直しを行うとある。関連計画は次回の見直しのタイミングの際に反映されると理解しているが、どうか。

事務局 お見込みのとおり、次回の後期基本計画策定のタイミングで修正箇所を反映する。今回の前期基本計画を随時改定することは考えていない。

6 その他

参加者 今回パブリックコメントを提出するに当たり、友人と総合計画を読む会を実施した。読むことで自分の生活に関連するところがあると気付くことができ、自分事として捉えられると思う。計画完成後には、市民ワークショップなどを開催してほしい。また、実際に計画を絵本や冊子で出す自治体もある。市民に触れられる機会をぜひ増やしてほしい。市民や地域の役割を記載しているのに、触れられないともったいない。

事務局 概要版を作成する予定であり、分かりやすい形で発信していきたい。

参加者 前期基本計画（案）の111ページで「①スポーツ環境の整備・充実」の主な取組で、「県立武道館の早期完成に向けた県との連携」とあるが、既に着手をしている状況だと思う。これから作成する総合計画の中で、むしろ完成後の施策展開を記載すべきだと思う。担当課に確認してほしい。

事務局 現在の第2次岩国市総合計画の後期基本計画の主な取組で、「県による武道館の整備に向けた要望」という文言を「県立武道館の早期完成に向けた県との連携」という記載にしている。適切な文言となるよう担当課と調整したい。

参加者 序論・基本構想（案）の46ページで、「情報通信技術が進展するほか、市民のニーズが多様化する中、」と記載がある。「ほか」とはどういう意味で使用しているのか。実態

- としては、「進展して、市民ニーズが多様化する」という流れだと思う。
- 事務局 並列のつもりで書いている。表現の変更を検討したいと思う。
- 参加者 前期基本計画（案）の123ページの「施策6-2-1 行政情報の発信と市民参加の促進」については関連する計画がないが、計画の進捗管理は各所管課が確認するのか。
- 事務局 進捗管理は、毎年、政策企画課が指標を基に進捗状況を各所管課に確認する。
- 参加者 前期基本計画（案）の80ページの「現状・課題」の2つ目だが、ここ3年ほど救急の件数は減っている。また、重症患者が岩国医療センターを受診する件数も年々減っている。理由は分からないが、そこを頭に入れておいてほしい。逆にいうと、救急患者のたらい回しがないように、救急医療の質を改善するという方向で考えればよいと思う。
- 事務局 今回いただいた意見を受けての計画案の修正は、皆様に確認していただく機会がない。今回は、座長と調整した上で、修正させていただくことを御了解いただきたい。

7 閉会

以上